① 旧定率法を旧定額法に変更した場合

【計算式】

変更した年の 減価償却 前記(2)ロにより その年に業務の用 定められた耐用年 に供された月数 1月1日 資産の実 10 変更後の 際の取得 × 数に応ずる旧定額 × における-未償却残高 100 法の償却率 1 2 減価償却費

※ 月数は、暦に従って計算し、1月に満たない端数を生じたときは、これを1月とします。

【設 例】

次の減価償却資産について、償却の方法を旧定率法から旧定額法に変更し、変更後の耐用年数について前記(2)口 ii の耐用年数を選択した場合

取得価額:10,000,000円

耐用年数:10年

耐用年数 10 年の旧定率法の償却率 ⇒ 0.206 耐用年数 10 年の旧定額法の償却率 ⇒ 0.100 耐用年数 7年の旧定額法の償却率 ⇒ 0.142

変更した年の1月1日における未償却残高:5,100,000円

未償却残高割合 5,100,000 円 ÷ 10,000,000 円 = 0.510 (小数第 4 位を四捨五入) 未償却残高割合 0.510 は、耐用年数取扱通達「付表 7 (1) 旧定率法未償却残高表 (平成 19 年 3 月 31 日以前取得分)」の 10 年の欄の 0.631 (経過年数 2 年) と 0.501 (経過年数 3 年) の間に位置するため、下位の 0.501 に対する 3 年が経過年数になります。

【付表7(1) 旧定率法未償却残高表(平成19年3月31日以前取得分)】抜粋

利用 選革 資	m	4	Б	ø	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
在 程 章 本 五 二	0.536	0. 438	0.369	D. 319	0.280	0.250	0. 226	0.206	D. 189	D. 175	0. 162	0. 152	0. 142	0. 134	С
1年	0.454	0.562	0.631	D. 681	0.720	0.750	0.774	0.794	D. B11	0.825	0.838	0.848	0.858	0.866	C
2	0.215	0.316	0.398	D. 464	0.518	0.562	0. 599	0.631	0.656	0.681	0. 702	0.720	0.736	0.750	С
3	0.100	0.178	0. 251	D. 316	0. 373	0.422	0.464	O. 5D1	0.534	0.562	0.588	0.611	0. 631	0. 649	С
4	0.050	0.100	0.156	0.215	0.268	0.316	0.359	0. 398	0.433	0.464	0.492	0.518	0.541	0.562	С
5	0. 040	0.056	0. 100	D. 147	0. 193	0. 237	0. 278	0.316	0.351	D. 383	0. 412	0. 439	0.464	0. 487	C
6	0.030	0.050	0.063	0.100	0.139	0.178	0. 215	0. 251	0. 285	0.316	0. 346	0. 373	0. 398	0.422	С
7	0.020	0.040	0.050	0.068	0.100	0.133	0. 167	0.200	0.231	0.261	0.289	0.316	0.341	0.365	С
8	0.010	0.030	D. D4D	0.050	O. OTZ	0.100	0. 129	0. 158	0.187	0.215	0. 242	0.268	0. 293	0.316	С
9	0.000	0.020	0.030	0.040	0.052	0.075	0. 100	0. 126	0. 152	0.178	0. 203	0. 228	0. 251	0.274	С
10		0.010	0.020	0.030	0.050	0.055	0. 077	0. 100	0.123	0.147	0.170	0. 193	0.215	0.237	С
4 -4		0.000	~ ~1~	~ ~~	0 040	~ ~~	A 202A	A A67A	~ 4^^	0 101	A 440	A 40.4	A 10E	0.000	F-

法定耐用年数(10年)から経過年数(3年)を控除した年数(7年)で変更後の減価償却を行います。

10年-3年=7年

(5,100,000円-10,000,000円×10/100)×0.142×12/12=582,200円(変更後の減価償却費)